



IBM Systems

IBM Director ServeRAID マネージャー
リリース情報

V8.30





IBM Systems

**IBM Director ServeRAID マネージャー
リリース情報**

V8.30

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

<http://www.ibm.com/jp/manuals/>

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関するご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM Systems
IBM Director ServeRAID Manager
Release Notes
V8.30

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2006.9

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2006. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2006

目次

第 1 章 このリリースについて 1	付録 B. カスタマー・サポートへの連絡 13
このリリースの新機能 1	サポートを依頼する前に 13
第 2 章 インストールおよびアップグレードの情報. 3	資料の使用 13
	ヘルプおよび情報を www から入手する 14
	ソフトウェアのサービスとサポート 14
第 3 章 既知の制限、問題、および回避策 5	付録 C. 特記事項および商標 17
制限 5	特記事項 17
問題 6	商標 18
回避策 6	
付録 A. 関連情報 9	

第 1 章 このリリースについて

本書には、IBM® Director ServeRAID™ マネージャー V8.30 のリリース情報が記載されています。

これらのリリース情報に対する今後の更新、および他の資料については、IBM Director の Web サイト

www.ibm.com/servers/eserver/xseries/systems_management/ibm_director/resources/ を参照してください。

このリリースの新機能

追加のハードウェア・サポート

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 には、以下のハードウェアのサポートが追加されています。

- IBM ServeRAID-8k SAS コントローラー
- IBM ServeRAID-8k-1 SAS コントローラー

追加のオペレーティング・システム・サポート

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 には、以下のオペレーティング・システムのサポートが追加されています。

- SUSE Linux Enterprise Server 9.3 (Intel x86 および EM64T 用)
- Red Hat Enterprise Linux 4 Quarterly Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 3 Quarterly Update 7
- Novell NetWare 6.5 (Service Pack 5 付き)

更新済みファームウェア・レベル

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 には、以下のファームウェア・レベルが含まれています。

- ファームウェア・レベル 5.1 (ServeRAID-8i SAS コントローラー用)
- ファームウェア・レベル 5.1 (ServeRAID-8k および 8k-1 SAS コントローラー用)

第 2 章 インストールおよびアップグレードの情報

このセクションでは、「*ServeRAID Manager* インストールおよびユーザーズ・ガイド」に記載されていない IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 のインストールおよび更新に関する追加情報について説明します。インストールの説明については、「*ServeRAID Manager* インストールおよびユーザーズ・ガイド」を参照してください。この資料を参照するには、IBM Systems Software Information Center (publib.boulder.ibm.com/infocenter/eserver/v1r2/topic/dirinfo/fqm0_main.html) にアクセスしてください。

以下に、「*ServeRAID Manager* インストールおよびユーザーズ・ガイド」に記載されている内容に追加する注意事項を示します。

- IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 は、IBM Director バージョン 5.10、5.10.1、5.10.2、または 5.10.3 にインストールできます。

注: V8.25 より前の IBM Director ServeRAID マネージャー バージョンを IBM Director バージョン 5.10.1、5.10.2、または 5.10.3 にインストールすることはできません。

- DS400 および DS300 筐体を管理するには Web サイト (http://www-1.ibm.com/support/docview.wss?rs=0&q1=17002rd&uid=psg1MIGR-58619&loc=en_US&cs=utf-8&cc=us&lang=en) を参照して、該当するソフトウェアをダウンロードし、それをインストールします。
- IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 をインストールする前に論理ドライブを作成するには、「*IBM ServeRAID Support*」CD が必要です。この CD は、ServeRAID コントローラーに付属して納入されますが、IBM Support Web サイトから ISO イメージをダウンロードすることもできます。ISO イメージから CD を作成する方法の詳細については、CD-ROM ライターに付属の資料を参照してください。CD ライターが使用不可で、CD がないか、不良であるか、または破損している場合は、IBM HelpCenter に連絡して、「*IBM ServeRAID Support*」CD の取り替えを要求してください。

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 用アップグレード・パッケージをダウンロードするには、以下の手順に従ってください。

1. IBM Director ダウンロード Web サイトの www.ibm.com/servers/eserver/xseries/systems_management/xseries_sm/dwnl.html にナビゲートします。
2. リストから **System x™** および **BladeCenter®** 用の **IBM Director 5.10** を選択し、要求情報を入力して、**Submit** をクリックします。
3. 現行バージョンの見出しの下の **IBM Director 5.10 Update 3** をクリックします。
4. ダウンロードするパッケージのリンクをクリックします。

表 1. IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 アップグレード・パッケージ

オペレーティング・システム	コンポーネント	パッケージ・ファイル名
Linux	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - エージェント	serveraid_8.30_agent_linux.tar
	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - コンソール	serveraid_8.30_console_linux.tar
	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - 管理サーバー	serveraid_8.30_server_linux.tar
NetWare	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - エージェント	serveraid_8.30_agent_netware.exe
Windows®	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - エージェント	serveraid_8.30_agent_windows.zip
	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - コンソール	serveraid_8.30_console_windows.exe
	IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 - 管理サーバー	serveraid_8.30_server_windows.exe

第 3 章 既知の制限、問題、および回避策

ここでは、IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 を使用する場合の既知の制限、問題、および回避策について説明します。

制限

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 には、以下の制限があります。

- **(IBM ServeRAID-6M または ServeRAID-4Mx コントローラーが取り付けられた管理対象システム) ServeRAID マネージャーのレベルが、ServeRAID の BIOS、ファームウェア、およびデバイス・ドライバーと同期化されません。** 管理対象システムで以下のオペレーティング・システムのいずれかが稼働している場合、ServeRAID マネージャーのレベルは、ServeRAID の BIOS、ファームウェア、およびデバイス・ドライバーのレベルと同期化されません。
 - Red Hat Enterprise Linux[®] AS バージョン 3.0 (Intel[®] Itanium 用)
 - SUSE LINUX Enterprise Server 8 (Itanium プロセッサ・ファミリー用)
 - Windows Server 2003 (Itanium システム用)
- **Windows 2003 の 64 ビット環境で ServeRAID-7t コントローラーを表示できません。** Windows 2003 の 64 ビット環境で ServeRAID-7t コントローラーを表示しようとする、失敗します。
- **IBM Director 5.10 は、ServeRAID マネージャーのスタンドアロン版バージョン 8.15 以降のみをサポートします。** IBM Director 5.10 は、ServeRAID マネージャーのスタンドアロン版バージョン 8.15 より前のバージョンをサポートしません。
- **選択可能リストでスクリーン・リーダーのエラーが発生する場合があります。** スクリーン・リーダーを使用して選択可能リスト内のオプションを読み取る場合、選択を行わずに選択可能リストをキャンセルし、ウィンドウ内の別のエレメントにタブで移動してから選択可能リストに戻ると、スクリーン・リーダーは、現在選択されている項目ではなく、最初の読み取りで選択された最後の項目を繰り返すことがあります。これは、Java[™] ランタイム環境の既知の問題が原因で発生します。
- **キーボード・ナビゲーションが、ヘルプ・パネル内のリンクについて正しく機能しない場合があります。** キーボード機能を使用して IBM Director ヘルプ・パネルでハイパーリンクにナビゲートし、アクティブにすると、新たにロードされたヘルプ・パネルに小さい色付きの長方形が表示される場合があります。これは、ナビゲーションやハイパーリンクの機能には影響しませんが、混乱を招く場合があります。次のハイパーリンクにナビゲートすると、この長方形は表示されなくなります。これは、Java ランタイム環境の既知の問題が原因で発生します。
- **キーボードを使用して IBM Director コンソール内をナビゲートする場合に、キーボード・コマンドでテーブル列をサイズ変更したり再配列したりすることができません。** キーボードを使用して IBM Director コンソールをナビゲートするとき、列をサイズ変更したり再配列したりすることはできません。これは、Java ランタイム環境の既知の問題が原因で発生します。

- (Linux システムの場合のみ) 上下スクロール・ボタンが表示されるほど長いメニューをオープンする場合に、スクロール・ボタンを複数回クリックすると、メニューがクローズすることがあります。これは、Java ランタイム環境の既知の問題が原因で発生します。回避策として、以下の操作を実行してください。
 - スクロール・ボタンをクリックしたままにして、残りのメニュー項目を表示します。
 - キーボードで上下矢印キーを押して、メニュー項目をナビゲートします。
- (Gnome デスクトップ環境で Red Hat Enterprise Linux が実行しているシステムの場合のみ) 新規ウィンドウが自動的にアクティブ・ウィンドウになることはありません。新規ウィンドウが表示されるアクションを実行すると、その新規ウィンドウは最上位ウィンドウであっても、(デフォルトで) アクティブ・ウィンドウにならないことがあります。これは、Java ランタイム環境の既知の問題が原因で発生します。回避策として、新規ウィンドウをクリックしてアクティブにするか、またはキーボード・ショートカット (Alt+Tab) を使用して新規ウィンドウに切り替えてください。この制限は、K デスクトップ環境が稼働するシステムには適用されません。
- Windows マウス・キー機能が、ヘルプ索引のアルファベット・リンクで期待通りに実行されません。ヘルプ索引で Windows マウス・キー・ユーザー補助機能を使用するとき、ページの上にあるアルファベット・リンクのいずれかを最初のマウス・キーが「クリック」しても、最初は索引内の正しい場所にページがスクロールされません。正しい場所にページをスクロールさせるには、マウス・ポインターを該当する文字に移動して、再度クリックする必要があります。(この問題は、マウスの使用時には発生しません。)
- ツリーにオブジェクトを含むウィンドウ内をキーボードでナビゲートする場合、ツリーにタブで移動しても、キーボードのフォーカスはすぐには表示されないことがあります。ツリーにタブで移動するときにキーボードのフォーカスを確認するには、スペース・バーか下矢印を押します。
- 「グループ・コンテンツ」ペインのオブジェクトがスクリーン・リーダーで読み取られない場合があります。IBM Director コンソールでスクリーン・リーダーを使用するときは、「グループ・コンテンツ」ペインでツリー表示を使用します。そうしないと、ペイン内のオブジェクトの一部が読み取られない場合があります。

問題

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 には、以下の既知の問題があります。

- キーボードでナビゲートするとき、キー・ストロークの組み合わせを使用すれば、IBM Director のヘルプ・ウィンドウ全体にコードが表示されます。キーボードを使用して IBM Director のヘルプ・テキスト内のハイパーリンクにナビゲートしたとき、最初のハイパーリンクは表示されません。最初のリンクをアクティブにすると、コードが表示されます。「戻る」ボタンを押すと、ヘルプ・テキストに戻ります。

回避策

IBM Director ServeRAID マネージャー V8.30 の使用時に発生する可能性のある問題を解決する次の方法を検討してください。

(Linux システムの場合のみ) Java GUI キーボード・ショートカット (Ctrl+Tab や Shift+Ctrl+Tab など) を KDE デスクトップで使用するには、KDE デスクトップのデフォルト・キーボード・ショートカット設定を変更する必要があります。KDE が実行されているシステムの場合:

1. メインメニューから「**コントロール・センター**」をクリックします。
2. 「コントロール・センター」ウィンドウで「**領域とアクセシビリティ**」をクリックし、次に「**キーボード・ショートカット**」をクリックします。
3. **ショートカット**・フィールドで、必要に応じて、指定のアクションに対するキーボードの組み合わせを変更します。
4. 「**OK**」をクリックします。

付録 A. 関連情報

本書以外から IBM Director に関する追加情報を入手することもできます。

WWW 上の IBM Director のリソース

以下の Web ページでは、IBM Director およびその他のシステム管理ツールを理解、使用、およびトラブルシューティングするために役立つリソースが提供されています。

IBM Director インフォメーション・センター

publib.boulder.ibm.com/infocenter/eserver/v1r2/topic/dirinfo/fqm0_main.html

IBM Director インフォメーション・センターは定期的に更新され、広範囲なトピックにわたる最新の資料を参照できます。

IBM Director Web サイト (ibm.com®)

www.ibm.com/servers/eserver/xseries/systems_management/ibm_director/

IBM Director Web サイト (ibm.com)には、現在サポートされているすべてのバージョンの IBM Director に関するダウンロードおよび文書へのリンクがあります。このサイトの情報は以下のとおりです。

- 次のIBM Director リリースのダウンロードと資料
 - IBM Director 5.10 アップデート 3 (5.10.3)
 - IBM Director 5.10 アップデート 2 (5.10.2)
 - IBM Director 5.10 アップデート 2 (5.10.2) UIM
 - IBM Director 5.10 アップデート 1 (5.10.1)
 - IBM Director 5.10 アップデート 1 (5.10.1) UIM
 - IBM Director 5.10
 - IBM Director 5.10 UIM
 - IBM Director 4.22
 - IBM Director 4.22 UIM
 - IBM Director 4.21
 - IBM Director 4.20
- *IBM Director Hardware and Software Support Guide* 資料。これは、サポートされている IBM システムおよびすべてのオペレーティング・システムをリストしています。6 週間から 8 週間ごとに更新されます。
- IBM Director の PDF 資料。さまざまな言語で Portable Document Format (PDF) 形式のものが用意されています。

IBM Director Software Developers Kit インフォメーション・センター

publib.boulder.ibm.com/infocenter/dirinfo/toolkit/index.jsp

IBM Director Software Developers Kit (SDK) インフォメーション・センターは、IBM Director SDK に関する情報を提供します。これは、API および

CLI の使用、タスクの作成、および IBM Director ユーザー・インターフェースからのツールの起動によって IBM Director の機能を拡張する上で役立つ一連のツールと資料です。

IBM Systems ソフトウェア・インフォメーション・センター

www.ibm.com/servers/library/infocenter/

この Web ページには、IBM Virtualization Engine™、IBM Director、外部アプリケーション起動ウィザード、Virtual System Manager、およびその他のトピックについての情報が用意されています。

IBM ServerProven® ページ

www.ibm.com/servers/eserver/serverproven/compat/us/

この Web ページには、IBM Director との IBM System x™、BladeCenter、および IntelliStation® ハードウェア互換性についての情報が用意されています。

IBM サーバー

www.ibm.com/servers/

ibm.com の Web ページには、以下の IBM 製品用の情報、ダウンロード、および Remote Deployment Manager、キャパシティー・マネージャー、システム稼働状況、およびソフトウェア配布 (Premium Edition) などの IBM Director extension へのリンクがあります。

- IBM BladeCenter
- IBM System i™
- IBM System p™
- IBM System x
- IBM System z™

IBM Virtualization Engine システム・サービスのフィックス

www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/VirtualizationEngine/home2.html

この Web ページは、Virtualization Engine システム・サービスに必要なフィックスに関する情報を提供します。フィックスには、システム・サービスに必要なオペレーティング・システムのフィックスと、それぞれのシステム・サービスが正常に機能するために必要なアプリケーション・レベルのフィックスが含まれています。

IBM フォーラム

www.ibm.com/developerworks/forums/dw_esforums.jsp

この ibm.com 上の Web ページは、Web ページとして使用可能ないくつかのフォーラム、あるいは IBM サーバーに関連した技術的な問題を討議するユーザーのための Rich Site Summary (RSS) フィードを使用したフォーラムへリンクしています。

これらのフォーラムの中の 3 つは、IBM Director ユーザーにとって特に有益です。

System x IBM Director フォーラム

www.ibm.com/developerworks/forums/dw_forum.jsp?forum=759&cat=53

IBM Director のどのようなトピックも討議できるフォーラムです。この Web ページには、RSS フィードを使用したフォーラムへのリンクがあります。

System x サーバーのフォーラム

www.ibm.com/developerworks/forums/dw_forum.jsp?forum=740&cat=53

System x サーバーのトピック (ドライバー、ファームウェア、オペレーティング・システム、クラスタリング、およびストレージに関連した質問を含む) を討議するフォーラムです。この Web ページには、RSS フィード経由でフォーラムにつながるリンクがあります。

IBM Director SDK フォーラム

www.ibm.com/developerworks/forums/dw_forum.jsp?forum=849&cat=53

特定のニーズに対応するために IBM Director SDK を使用して IBM Director の機能を拡張する方法について討議するフォーラムです。この Web ページには、RSS フィード経由でフォーラムにつながるリンクがあります。

IBM Redbooks™ 資料

www.ibm.com/redbooks/

以下の資料を IBM Redbooks Web ページからダウンロードできます。また、この Web ページで、特定の IBM ハードウェア資料、例えばシステム管理に関する情報にフォーカスした資料などを検索できます。

注: 資料の発行日に注意して、その IBM Director ソフトウェアのレベルと Redbooks 資料が参照しているレベルを判断してください。

- *Creating a Report of the Tables in the IBM Director 4.1 Database* (TIPS0185)
- *IBM Director Security* (REDP-0417)
- *IBM BladeCenter Systems Management with IBM Director V4.1 and Remote Deployment Manager V4.1* (REDP-3776)
- *Implementing IBM Director 5.10* (SG24-6188)
- *Integrating IBM Director with Enterprise Management Solutions* (SG24-5388)
- *Managing IBM TotalStorage® NAS with IBM Director* (SG24-6830)
- *Monitoring Redundant Uninterruptible Power Supplies Using IBM Director* (REDP-3827)

リモート管理アダプター

リモート管理アダプター概説

www.ibm.com/support/docview.wss?uid=psg1MIGR-4UKSML

この Web ページには、「*Remote Supervisor Adapter User's Guide*」および「*Remote Supervisor Adapter Installation Guide*」へのリンクが掲載されています。

リモート管理アダプター II 概説

www.ibm.com/support/docview.wss?uid=psg1MIGR-50116

この Web ページには、リモート管理アダプター II についての情報が掲載されています。

その他の資料

計画の目的では、以下の資料が参考になります。

- *Planning and Installation Guide - IBM BladeCenter (Type 8677)*
- *IBM Management Processor Command-Line Interface (MPCLI) User's Guide version 5.10*

付録 B. カスタマー・サポートへの連絡

ヘルプ、サービス、技術支援、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供している支援をご利用いただけます。ここでは、IBM および IBM 製品に関する追加情報を得るにはどうすればよいか、ご使用の System x または IntelliStation システムで問題が発生した場合の対処方法、および、サービスが必要になった場合の連絡先について記載します。

サポートを依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムの電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用のシステムに付属の資料に記載のトラブルシューティング情報を参照するか、診断ツールを使用します。BladeCenter および System x システムの診断ツールの説明は、「IBM System x ドキュメンテーション」CD の「*Problem Determination Service Guide*」に記載されています。IntelliStation の診断ツールの説明は、IBM Support Web サイトにある IntelliStation の「*Hardware Maintenance Manual*」を参照してください。
- IBM サポート Web サイト (www.ibm.com/support/us) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求してください。

多くの問題は、IBM のシステムやソフトウェアに付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。ご使用のシステムに付属の資料には、ユーザーが実行できる診断テストについても記載しています。ほとんどの BladeCenter、System x、IntelliStation システム、オペレーティング・システム、およびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

IBM BladeCenter、System x、または IntelliStation システム、およびプリインストール・ソフトウェアに関する情報は、システムに付属の資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン・ブック、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバーの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。IBM は WWW に、最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバーおよび更新をダウンロードできるページを設けていま

す。これらのページにアクセスするには、www.ibm.com/support/us に進み、説明に従ってください。IBM 資料は、www.elink.ibm.com/public/applications/publications/cgibin/pbi.cgiで、「IBM Publications Ordering System」を使用して注文することもできます。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

ワールド・ワイド・ウェブ上の IBM Web サイトには、IBM BladeCenter、System x、および IntelliStation などの製品、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。

適用可能な製品情報については、次の Web アドレスにアクセスしてください。

IBM 製品	Web アドレス
BladeCenter 製品	www.ibm.com/servers/eserver/support/bladecenter/
IntelliStation ワークステーション	www.ibm.com/servers/intellistation/pro/already.html
System xサーバー	www.ibm.com/servers/eserver/support/xseries/index.html

ご使用の IBM 製品 (サポート対象のオプションを含む) に関するサービス情報は、www.ibm.com/support/us で入手できます。

IBM Director に関する情報は、www.ibm.com/developerworks/forums/dw_forum.jsp?forum=759&cat=53 の IBM Systems forum から入手できます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、IBM System x サーバー、IntelliStation ワークステーション、およびその他の製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話による援助を有料で受けることができます。

IBM ソフトウェア・メンテナンス (SWMA) を使用すると、IBM System i テクノロジー、System p サーバー、および System x の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話による援助または電子アシスタンスを有料で受けることができます。修正およびアップデートは、製品の保証の一環であり、製品ライセンスに含まれています。

IBM サービスおよびサブスクリプション (S&S) を使用すると、System z メインフレームの欠陥ソフトウェアの問題について、電話による援助または電子アシスタンスを有料で受けることができます。修正およびアップデートは、製品の保証の一環であり、製品ライセンスに含まれています。

注:

1. IBM ハードウェアに IBM Director サーバーをインストールして使用する場合は、BladeCenter および System x 用の Implementation Services ServicePac[®] を購入して、IBM Director サーバーに関するサービスおよびサポートを受けることができます。
2. IBM 以外のハードウェアに IBM Director サーバーをインストールして使用する場合は、IBM Director サーバーのライセンスを購入する必要があります。

す。ただし、このライセンスは、IBM Director サーバーのサービスおよびサポートを受ける権利を付与するものではありません。サービスおよびサポートは、サポート・ラインを通じて別途、購入することができます。また、System x および IBM x86 以外のシステム用サポート・ラインのプロアクティブ・サポート・オプションである Enhanced Technical Support (ETS) も購入できます。

使用する国または地域で、サポート・ラインがサポートする製品について詳しくは、www-935.ibm.com/services/jp/its/pdf/support/sllist.pdf をご覧ください。

サポート・ラインおよびその他の各種 IBM サービスについて詳しくは、www.ibm.com/jp/servers/eserver/xseries/service/xsupportline.shtml をご覧になるか、あるいは www.ibm.com/planetwide/ で、サポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

付録 C. 特記事項および商標

ここでは、特記事項と商標の情報を提供します。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

© Copyright IBM Corp. 2004 439 本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交

換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
MW9A/050
5600 Cottle Road
San Jose, CA 95193
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

BladeCenter
DS4000
IBM
ibm.com
IntelliStation
Redbooks
ServeRAID
ServerProven
ServicePac
System i
System p
System z

System x
TotalStorage
Virtualization Engine
xSeries

Intel、Itanium[®]、および Pentium[®] は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft[®]、Windows、および Windows NT[®] は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Red Hat およびすべての Red Hat ベースの商標とロゴは Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

SET は、SET Secure Electronic Transaction LLC の米国およびその他の国における登録商標です。

UNIX[®] は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



Printed in Japan